

わだちコンピュータハウス近隣MAP



わだちコンピュータハウス施設概要

設立主体	社会福祉法人AJU自立の家
名称	障害者就労支援事業所 わだちコンピュータハウス
代表者	加藤 正志
所在地	〒466-0025 名古屋市昭和区下横町1-3-3
TEL	052-841-9888
FAX	052-841-3788
mail	wadachi-ch@aju-cil.com
沿革	・1984(昭和59)年10月24日 AJUわだち作業所 設立 ・1990(平成2)年4月1日 法人化に伴い現組織へ改組並びに改称 ・2007(平成19)年4月 新体系事業に移行(就労継続A・B、生活介護)
取引銀行	名古屋銀行桜山支店、三菱UFJ銀行滝子支店

●●● AJU自立の家とは ●●●

AJU自立の家とは、障害当事者運動の中から生まれた、障害者の自立をめざす団体です。1973(昭和48)年、車いすを利用する重度障害者の呼びかけをきっかけに、「福祉の街づくり運動」が始まりました。障害者差別の顕著な時代で、当時200万都市の名古屋において、車いすです利用できるトイレがどこにもない時代でした。車いすを利用する仲間たちが行政や百貨店などに、要望書を書いたり、仲間たちと出かけて行き、私たちも社会の一員であることをアピールしました。

一方で障害者自身の意識改革をめざし、勉強会も開催しました。仲間たちは社会のせいにしてあきらめるのではなく、自分たちも変わっていこう、自分たちが利用することでバリアをなくしていこうとしてきました。

AJUは、仲間たちの思いに応えて、施設や親元を離れて自立生活を営む方法を学ぶ場を作ったり、重度の身体障害者の働く場を作ったり、自立生活に必要なヘルパーの養成講座を開いたり、在宅介護事業を立ち上げたり、また、知的障害の仲間の働く場や精神障害者の社会復帰の事業も展開しております。AJUは自立生活の拠点であると同時に、当事者運動の拠点でもあります。

AJUはつねに、社会の片隅に取り残された、より弱い立場の声に耳を傾け、制度がないところは自分たちで、ボランティアで支援の仕組みを作ってきました。

Wadachi Computer House

わだちコンピュータハウス

<https://aju-cil.com/services/wadachi/>



わだちコンピュータハウス業務内容

障害当事者の視点を活かして

入力

データ入力及び管理

1. 名簿の入力・修正
2. アンケートの入力
3. 機関誌等の入力・編集
4. 講演会、会議等のテープ起こし
5. 看板作成・ポスター出力

発送

1. 機関誌・業界紙等の宛名印刷から発送
2. 登録証の作成から発送



システム開発

システムコンサルティング（業務分析）

1. お客様のニーズの掘り起こし
2. 業務にあわせた仕様づくり
3. オーダーメイドシステムやソフトの提案
4. PC導入による事務処理や経費の削減
5. システム拡張

ホームページ作成

1. ホームページの企画・作成・運用
2. データの修正・編集

企業・団体・個人のPC導入支援、運用支援

1. 機種選びやLAN環境の整備
2. ソフトやPC環境のメンテナンス

業務システム設計・開発

1. 顧客管理システム
2. 経理・給与システム
3. 集計システム



調査企画

計画策定と企画提案

1. 障害者福祉
2. 児童福祉
3. 福祉のまちづくり
4. 再開発、建築計画への障害者対応



学識経験者とのネットワーク

福祉、建築、土木、交通関係の有識者との研究会を持ち、協力関係にあります。

障害者講師派遣・研修事業

- バリアフリー研修、人権研修
- 防災セミナー（講演、ワークショップ）



調査の企画・集計・分析

1. 福祉系調査の企画立案
2. 調査結果の集計
3. 調査結果の分析
4. 集計結果の図表作成
5. 調査票の編集・印刷
6. 報告書の編集・印刷
(2,4,5,6は福祉系以外でも対応)

生い立ち

1981年国際障害者年を迎えるより前、1973年に「愛知県重度障害者の生活をよくする会」がスタートしました。

当時まだ盛んではなかった障害者自身による自立生活運動に取り組み始め、1984年10月に重度障害者の働く場「わだち作業所」が産声を上げました。

特徴

従来、障害者の作業所は手に障害のある人が手作業などを行っていました。

手作業中心の働き方に疑問を感じた私たちは、持っている能力を活かし付加価値を高めることのできるコンピュータを選択しました。手作業にたよらざるを得ないところは手の利く人で対応しています。施設運営に関しても、財務管理をはじめ多くの決定事項に利用者が関与し、運営されています。

業務

事務系のパーソナルコンピュータシステム開発をはじめとして、データ入力、ホームページ企画・作成等、好評を得ています。さらに、1992年より手がけている障害を持つ当事者の視点を活かした行政計画や、街づくり計画など自治体から委託を受ける福祉関係のコンサルティング業務は大きな柱となっています。また、2000年より中部国際空港のユニバーサルデザイン導入、2001年より2005年国際博覧会のバリアフリー導入などビッグプロジェクトへの参加も実現するに至りました。

現在

わだちコンピュータハウスは、全国に数多くある同種の施設の中では業務の幅および売り上げにおいて類をみない成果を上げていると自負しています。

ユニバーサルサービス事業部(USJ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. コンサルティンググループ | 4. 防災企画グループ |
| 2. 入力・集計グループ | 5. 印刷・発送グループ |
| 3. 企画・運営・講師派遣グループ | 6. リフトカー事業グループ |

IT事業部

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. システム開発グループ | 3. WEBデザイングループ |
| 2. ITサポートグループ | |

組織構成

障害者総合支援法に基づく新体系事業

- 就労継続支援 A 型**
受注した業務を主体的に遂行する。雇用契約、労働法規の適用。就業規則あり。
- 就労継続支援 B 型**
これから技能を磨き挑戦していこうとする者にはステップアップしていく機会。
- 生活介護**
重度の障害者の立場を活かした活躍の場を創造。

